

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

西九条小	学校	児童数	63
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.45	19.00	26.86	35.76	48.14	9.05	157.79	22.58	52.24
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.50	18.38	35.63	35.44	29.69	9.85	146.13	11.52	50.54
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点では、男子は大阪市平均を上回っているが、男女とも全国平均点より下回っている。個別の種目については、男女ともに俊敏性において低い結果となっている。特に長座体前屈や反復横とびでは、大阪市平均、全国平均ともかなり下回る結果となった。一方で、立ち幅とびでは、男女とも全国平均を大きく上回ることができている。

「週に運動する時間はどのくらいですか」の質問には、週あたりの運動時間が60分未満の児童は、男子が7.7%、女子は21.9%であった。第5学年の児童が休み時間に外に出て遊んでいることは少なかったが、体育科の時間や放課後の習い事等で体を動かすことができている。

また、「体を動かすことは好きですか」の質問には、男女とも全国平均より4ポイント程度高いという結果になった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、体力・筋力ともに前年度の5年生より数値が高くなっており、運動やスポーツが好きな児童が多かった。また、体を動かすことにも抵抗なく取り組むことができているので、体育の学習の時間を中心に、引き続き目的意識やねらいをしっかりと持たせ、様々な運動に取り組ませたい。

今回の結果を受けて、俊敏性を伴う運動が平均より低い値となっているので、ラダートレーニングを行ったり、ミニフープ等を使ったり、休み時間にみんなで鬼ごっこをしたりするのも効果があると考えます。また、柔軟性を高めるために、日ごろから準備運動等を通じてストレッチを行ったり低学年の頃よりマット運動をしっかりと行ったりしていくことが必要だと思われる。